

滝沢市立滝沢小学校

校報

滝小の風



第6号 令和7年6月17日 文責 阿部 拓也

【学校教育目標】

かしこい子

心豊かな子

すこやかな子

自然の中で力を合わせ大きく成長した林間学校・・・

6月11日・12日の2日間、5年生の子ども達は、林間学校で岩手山青少年交流の家(テンプーク)に行ってきました。

初めての宿泊ということもあり、子ども達はドキドキ・ワクワクと期待感を膨らませ、学年スローガンを「思い出に残る林間学校にしよう」と設定し、準備を進めてきました。

最初の活動である野外炊事では、おいしいカレーを目指し、食事係(カレー担当)・用具係(ごはん担当)・かまど係(かまど担当)と役割分担し、それぞれが自分の仕事に責任をもって作業を頑張りました。予定した時間よりも早めに作業を進め、どの班も協力しておいしいカレーを作ることができたようです。



【火を囲みジェンカで盛り上がり中】

1日目最後の活動であるキャンプファイヤーでは、直前まで降っていた雨も上がり、真っ赤に燃え上がる炎を囲み、最初から「ジェンカ」のダンスで盛り上がりました。「イエスノークイズ」では、インタビューに対する「イエス」「ノー」に推理を働かせて答えを導き出しました。最後はみんなで「マイママイム」のダンスを楽しんで締めくくりました。

2日目のショコラオリエンタリングは、地図を見ながらポストを探し、時間内にゴールをするという競技でしたが、最後までまとまって行動するグループやバラバラになりながらも何とか乗り切ろうとするグループもあり、それぞれ臨機応変に対応し、楽しんでいました。

5年生の子ども達は、この林間学校での学習を通して、自主性・責任・協力・友情等、集団生活における大切なことをたくさん学び、かけがえのない楽しい思い出もたくさんできたことと思います。これからの生活の中でも、林間学校で学んだことを生かし、活躍することを期待しています。



【活動が始まる前の腹ごしらえ】



【美味しいカレーライスを調理中】



【美味しいカレーが完成!!】



【火の神からの分火を受ける】



【ジェンカで大盛り上がり】



【ショコラオリエンタリングで探索中】

全校のために…6年生がプール清掃に大奮闘！

5月30日（金）の2・3時間目に6年生の子ども達がプールそうじを行いました。2時間目は1・2組、3時間目は3・4組と時間を分担して作業を進めました。

この日は、曇り空のあいにくの天候でしたが、時間が経つにつれて空の明るさも回復してきたように感じられました。

今回は、プールの底や側面、プールサイド、更衣室、トイレ、シャワー等をたわしやデッキブラシで汚れをゴシゴシと落とし、きれいに磨き上げるとても大変な作業です。それでも、6年生の子ども達は「全校が気持ちよく水泳学習を進めることができるように」という思いを込め、すみずみまできれいにしようと頑張っていました。プールそうじを終えた6年生に感想を聞くと、「自分が低学年のときも6年生がやってくれていたの、自分達もそうなるよう頑張った」「水で濡れたけれど、楽しんできれいにできた」「きれいだと気持ちいいから頑張った」等の声がたくさん聞かれました。さすが最高学年です。

今年は16日（月）にプール開きが行われました。例年より気温が高い日が続いているので、今週からどの学年でも水泳学習をスタートさせることでしょう。水泳学習では、どの学年もたっぷりと水に親しみ、たくさん泳いで泳力をどんどん伸ばしてほしいものです。



【プール清掃：ビフォー（上）アフター（下）】

4年生も認知症キッズサポーターに…認知症出前講座で学ぶ！

6月12日（木）の3校時、4年生は総合的な学習の時間の「キャップハンディについて考えよう」の学習の一環で「認知症出前講座」を行いました。

当日は、滝沢市の保健推進員や認知症サポーターの方々が来校し、認知症とはどういうものか、認知症の人に対してどのように接していけばいいの、自分にできることはどんなことかを分かりやすく教えてくださいました。

最初に、「認知症で一番困っているのも一番不安に思っているのも本人なのだ」ということからスタートし、チャグチャグ座「わたしのおばあちゃん」の劇を通して、子ども達は認知症への理解を深め、これから自分たちがどのように接していくのかを深く考える授業となりました。

授業の振り返りでは、「たくさんのことに気づき、優しく接すれば症状が進みにくいということにビックリした」「今日の勉強で認知症の人を大切にしたいと思った」「子どもでもできることがたくさんあると思った」「たくさんのことを知ることができてよかった」等の感想があげられました。

今回の学習で「認知症キッズサポーター」となった4年生の子ども達。認知症の人に対してはもちろんのこと、お年寄りや小さな子、困っている人に対していつでも優しく、相手の気持ちを考えた行動を実践して行ってほしいものです。



【チャグチャグ座の劇から学ぶ4年生】